

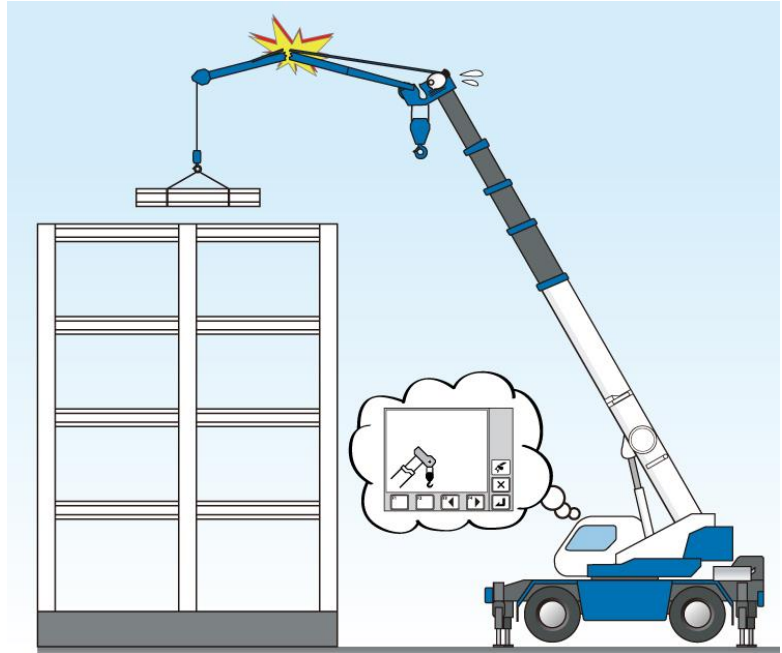
事故事例

AML 設定不良による損傷事故

ラフテレーンクレーン

事故発生状況

クレーン作業中、高い位置にある荷物を、ジブにて吊り上げようとしたが、過荷重で吊り上げ出来なかった。
 AML(過負荷防止装置)の作業状態設定を『ジブ作業』から『ブーム作業』に変更して、ウインチを巻き上げたところジブが折損した。



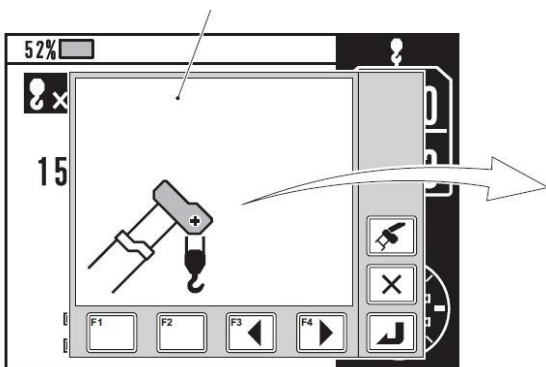
原因

AML の作業状態登録を『ジブ作業』から『ブーム作業』に変更して、過負荷作業を行ったため。

対策

- ・実際のクレーン状態と異なる AML の作業状態登録は行わない。
- ・過負荷作業は行わない。

AML のブーム状態登録用サブウインドウ



※上図は、GR-250N-2 の例。詳細については取扱説明書を参照ください。

サブウインドウ	ブーム状態
	ブーム作業
	シングルトップ作業
	ジブセット作業
	8.0mジブ作業
	13.0mジブ作業

○AML の作業状態登録は正しく行ってください。作業状態の登録内容が誤っていると、機械が転倒または破損して重大事故を起こします。

○荷を吊り上げる前に、定格総荷重を確認してください。定格総荷重表に示された値を超える荷は吊らないでください。